

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立生江小学校

令和 8 年 4 月

大阪府立生江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

大阪府学力経年調査において、各学年のほとんどの教科で対全国比が1を上回る結果であった。全国学力・学習状況調査は、対市比を少し下回る結果であった。全国体力・運動能力、運動習慣等調査においては、多くの種目で全国平均を大きく上回る結果であった。全教職員が連携し、きめ細やかな指導と主体的に活動させる学習や行事を通して、特色ある教育活動を展開してきた結果、学力面だけではなく不登校など生活指導面でも、課題が改善されてきた。

課題として、基本的な生活習慣に課題を抱える児童の割合が高いことである。加えて、今年度は児童数減少に伴って教員数が大きく削減されたため、複式学級を行うことになり、児童への教員のかかわりが薄くなる可能性がある。また、学力の格差が顕著になり、きめこまやかな「個に応じた指導」を必要とする児童の割合も多くなっており、インクルーシブ教育の充実とともに、全体的な学力の底上げのためには、ICT 機器等を効果的に活用した工夫が必要である。すべての児童が粘り強く課題に取り組み、達成感をつかめるような指導をめざし、課題の解決に向けた研修等を積み重ねていきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、100%にする。 **R7: 95.1%**
- 本市調査のパソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末含む))を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 **新規項目**
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、100%にする。 **新規項目**

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を100%にする。 **R7: 100%**
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を100%にする。 **R7: 97.6%**
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(『朝食を毎日食べること』『毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること』)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上とする。 **新規項目**

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にする。 **新規項目**
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。 **R7: 17時間39分(2月時点)**
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 **R7: 82.9%**

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、96%以上にする。 R7 : 95.1%
- 本市調査のパソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末含む））を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 新規項目
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。

新規項目

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 100%にする。 R7 : 100%
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 98%にする。 R7 : 97.6
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（『朝食を毎日食べること』『毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること』）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上とする。 新規項目

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を 70%以上にする。 新規項目
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 17 時間 38 分以下とする。 R7 : 17 時間 39 分（2月時点）
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。 R7 : 82.9%

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立生江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、96%以上にする。 R7: 95.1% ○本市調査のパソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末含む))を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 新規項目 ○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。 新規項目	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 学部制をベースとし、きめ細やかな指導と情報共有を行うことにより、問題行動等の未然防止、早期発見に努めるとともに、関係諸機関との連携を充実させ、適切な指導・支援を行う。 ・学部会や職員朝会、職員会議や児童理解の場などで生活指導についての共通理解を図り、ケースに応じて学部や関係する教職員で対策を講じ、解決をめざす。 ・児童の情報や指導したことを児童理解フォルダに記録として残すことで、教職員全体で情報の共有を図る。 ・毎月いじめ対策委員会を行い、学校全体で速やかに事実の確認を行うとともに、適切に指導を行う。 ・「いじめ・いのちについて考える日」には、道徳等でいじめに関する内容を取り扱い全員でいじめについて考えるようにする。 指標 保護者アンケートの「学校は、子どもが楽しく学校生活を送ることができるよう取り組んでいる」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上にする。 R7.52%	
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 児童の健全な成長と安全なICT活用を推進するため、スマートフォンやタブレット等の利用について保護者と連携したルールづくりの充実を図る。 ・生江小学校のきまり(スマートフォンの使い方やゲームの時間等)についての啓発プリントを配付したり出前授業をしたりする。 ・保護者会や懇談会において、ICT利用に関する講話や意見交換を実施し、家庭間の意識共有の促進を図る。 ・定期的にアンケート調査を実施し、児童及び家庭の実態把握と指導の改善を図る。	

指標 保護者アンケートの「家庭でスマートフォン等を利用するときのルールはありますか。」の項目について、肯定的な回答の割合を 70%以上にする。 新規項目	
取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 人権教育を中心に、自他の良さやちがいを認め合うことの意義について考える授業を充実させ、自己肯定感及び他者理解の向上を図る。 ・人権教育や仲間づくりなどをテーマに、児童の実態に合わせた取組を実践し、その内容を人権集会で発表する。 ・年間計画に沿って、平和学習や部落問題学習、在日外国人に関わる学習などを各学年の児童の実態に合わせて実践する。	
指標 生活アンケートにおける「自分を大切にし、友だちも大切にしている。」の項目において、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。 新規項目	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
中間評価への改善点	

大阪市立生江小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 100%にする。 <u>R7：100%</u> ○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 98%にする。 <u>R7：97.6</u> ○小学校学力経年調査における「規則正しい生活（『朝食を毎日食べること』『毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること』）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上とする。 <u>新規項目</u>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 対話や交流等の協動的な学びを通して、自分の考えを深めたり、広げたりする力の育成を図る。 ・筋道立てて考える力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるよう、指導の充実を進める。 ・ハンドサインを用いて、発表や交流の活性化を図る。 ・聞き方、話し方についての掲示物等を活用する。 指標 生活アンケートの「話し合う活動は好きですか。」の項目について、最も肯定的な回答をする児童の割合を 69%以上にする。 <u>R7:68% R8: %</u>	
取組内容②【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 体力テスト等の結果もふまえ、体育の授業や体育的取組を工夫し、児童の体力向上への意識を高める。 ・各学期に運動に関する強化週間を設定し、体力向上に向けて取組を実施する。 ・体育科の授業の導入において、年間を通して新体力テストの向上につながる運動に取り組むなど、体力づくりに関する取組を進める。 指標 生活アンケートの「外に出て遊ぶことが好きですか。」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 <u>R7：78% R8： %</u>	
取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 児童が規則正しい生活習慣を身につけることができるよう、健康に関する指導や食育の充実を図る。 ・栄養指導、給食カレンダーや食育だよりなどを通し、食べ物の働きを知り、バラ	

ンスよく食べることの意識を高めることができるよう指導する。 ・保健給食週間や歯みがき指導を通じて、歯の健康の大切さを知らせ、正しい歯みがきの仕方を意識づけ、習慣化するように指導する。また、給食後の歯みがきの徹底に取り組む。 ・学期に1回の保健給食週間を通し、食育や健康教育の充実を図る。 ・情報発信を通して家庭との連携を深め、食育や規則正しい生活習慣の確立に向けた。	
指標 生活アンケートの『早寝・早起き・朝ごはん』は大切だと思いますか?」の項目について、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 <u>新規項目</u>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
中間評価への改善点	

大阪市立生江小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 70%以上にする。 <u>新規項目</u> ○「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 17 時間 38 分以下とする。 <u>R7：17 時間 39 分（2 月時点）</u> ○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。 <u>R7：82.9%</u>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）】 家庭で学習者用端末を正しく活用する習慣を身に付けさせる。 ・学年の発達段階に応じて、タイピングやデジタルドリル、自主学習などの課題に取り組む。 ・学習者用端末を活用し、宿題や持ち物の確認をする。 指標 生活アンケートの「お家で学習者用端末を利用して、宿題をしたり、連絡帳の確認を毎日したりしていますか？」の項目について、肯定的な回答の割合を 70%以上にする。 <u>新規項目</u>	
取組内容②【基本的な方向番号 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が持てる能力を存分に発揮することができる職場環境の実現をめざす。 ・週 1 回「ゆとりの日」を設定し、効率よく業務を行う意識を高める。 ・放課後に行う会議や研修の日などには、年間標準授業時数の範囲内で、流動的に校時を変更し、勤務内に仕事が終わるように努める。 指標 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教員の割合を 87%以上にする。<u>R7. 86.7%（2 月）</u>	
取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】 多くの本に触れる機会をつくり、学習の基盤となる言語能力、情報活用能力の育成につながる読書活動の推進をめざす。 ・新刊が入った時には、ブックトラックを活用して各学年の廊下に置くことで、休み時間にも気軽に手に取れるようにする。また、図書館司書と連携を図り、定期的な学級文庫の入れ替えを行う。 ・低学年には、「たくさん本を読んでみよう！」カードを使い、自分がどれくらい本に触れたのかを視覚化し、読書意欲の向上をはかる。 指標 生活アンケートの「読書は好きですか？」の項目において、肯定的な回答の	

割合を 91%以上にする。R7. 90%	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
中間評価への改善点	